

## 自動操舵システム載せ替え利用 寒冷地南部での水田作複合経営に効果

農研機構では寒冷地南部での水田作複合経営にて自動操舵システムの活用と自動操舵システムの載せ替え利用における導入効果を明らかにしました。

### ☆ 技術の概要

1. 寒冷地南部の水田作複合経営において、自動操舵システムは高精度な作業が必要な水稲の移植、乾田直播、大豆・麦の畝立て播種、枝豆の直播や収穫などの多品目、多作業に活用することができます（図）。自動操舵システムを異なる作業機に載せ替えて使用する場合、機器を固定する台座やケーブル類を事前に常設しておく必要がありますが、20分程度で載せ替えや設定が可能で、農繁期でもスムーズな作業機の切り替えが可能になると考えられます。
2. 自動操舵システムを活用した場合、作業の誘導を行う補助員が不要となるため、水稲移植では人員を25%減、水稲乾田直播と大豆・大麦播種では1人作業が可能となります。耕うんや代かきに活用した場合、直進性が高いため作業機の重ね幅を10cm程度まで狭くでき、作業行程数を減らせます。



図 寒冷地南部での水田作複合経営での自動操舵システムの利用例

### ☆ 活用面での留意点

1. 試験に利用した自動操舵システムは株式会社ニコン・トリンプル社のGFX-750です。他のメーカーの自動操舵システムについてはメーカーへお問い合わせください。
2. 詳細は農研機構中日本農業研究センター研究推進室広報チーム（電話 029-838-8421）へお問い合わせください。